



第45回日本重症心身障害福祉協会

東日本施設協議会に参加

平成30年11月8日(木)、9日(金)の2日間、静岡県のホテルコンコルド浜松において東日本施設協議会が開催されました。協議会に先駆け、開催担当施設を代表して社会福祉法人聖隷福祉事業団 理事長 山本敏博氏よりご挨拶をいただきました。次に日本重症心身障害福祉協会会長である当センター院長 木実谷哲史、続きまして静岡県健康福祉部長 池田和久氏、浜松市健康福祉部部長 朝月雅則氏よりご挨拶をいただき協議会が開催されました。2日間のプログラムは右記の通りとなっています。

今回の参加施設65施設、参加者180名でした。閉会式では東日本施設協議会会長 木実谷哲史より閉会の言葉があり、次回開催担当施設の東京都立東大和療育センター院長 柳瀬 修氏よりご挨拶をいただき、最後に聖隷おおぞら療育センター所長 木部哲也氏よりお礼の言葉があり閉会となりました。



11月8日・9日のスケジュール

開会式	<p>歓迎挨拶 社会福祉法人聖隷福祉事業団 理事長 山本敏博</p> <p>会長挨拶 島田療育センター 院長 木実谷哲史</p> <p>来賓祝辞 静岡県健康福祉部長 池田和久氏 浜松市健康福祉部部長 朝月雅則氏</p>
特別講演	<p>緩和ケアの歴史的経緯といまの課題への取り組み：国内外の趨勢 講師 森田達也 (聖隷三方原病院 副院長) 座長 聖隷おおぞら療育センター 所長 木部哲也</p>
提言及び協議	<p>高齢者の重症心身障害の問題 講師 出店正隆 (大倉山学院 院長) 座長 木実谷哲史・出店正隆</p> <p>聖隷おおぞら療育センターの療育 講師 横地健治 (聖隷おおぞら療育センター 顧問) 座長 木実谷哲史・横地健治</p>
情報交換会	
提言及び協議	<p>聖隷おおぞら療育センターからみた現在の重症心身障害福祉ニーズ 講師 横地健治 (聖隷おおぞら療育センター 顧問) 座長 木実谷哲史・横地健治</p> <p>長岡療育園における在宅重症児者支援 講師 小西徹 (長岡療育園園長) 座長 木実谷哲史・小西徹</p>
閉会式	<p>会長挨拶 島田療育センター 院長 木実谷哲史</p> <p>次期開催担当施設挨拶 東京都立東大和療育センター 院長 柳瀬治</p> <p>お礼の言葉 聖隷おおぞら療育センター 所長 木部哲也</p>
施設見学	見学施設：聖隷おおぞら療育センター

第29回

重症心身障害療育学会学術集会

10月4日(木)～5(金)に和歌山県にて、第29回重症心身障害療育学会学術集会が開催されました。「療育」に携わる様々な職種の職員による発表は、より良い生活の提供を目指した試行錯誤の賜物であり、新鮮かつ魅力的でひとつひとつを持ち帰り役立てたい思いが募りました。当センターからは、下村療育主任が20年目を迎えた「CAPP活動」(人と動物のふれあい活動)における、利用者様にとっての意義や支援職員の役割についてエピソードと共に発表させていただきました。



(療育長 岩井 理)

第44回

日本重症心身障害学会学術集会

9月29日(金)～30日(土)に、第44回日本重症心身障害学会学術集会が江戸川区のタワーホール船堀にて開催されました。今回が初めての学会参加で緊張しましたが、自分たちの行った「重症心身障害看護師の目指す姿」の研究を発表することができました。いろいろな研究発表を聴き、学ぶことが多くありました。今後のケアに生かせるよう努力していきたいと思えます。



(看護主任 福田 琢哉)

10月・11月の病棟行事

10月・11月に行われた各病棟行事、イベントの情報を
お知らせいたします。
(編集委員 高橋 節夫)

秋のお楽しみ会
1病棟

11月8日(木)に実施、参加総数は75名。
利用者様とご家族・職員・応援スタッフを交え、秋のお楽しみ会を開催しました。午前中は病棟内で「みんなの夢を描こう」をテーマに第1部の創作活動を、午後は厚生棟で第2部の展示発表を行ないました。色彩豊かな大きな作品が飾られ、拍手喝采でした。



大遠足第2班
2病棟

10月17日(水)に実施、参加総数は61名。
午前中は厚生棟でレクリエーションを楽しみました。サザエさん一家をモチーフにした装飾の中で、笑い声にあふれたゲームでした。午後はバスで外出し、近隣の小山内裏公園をのんびり散策して過ごしました。



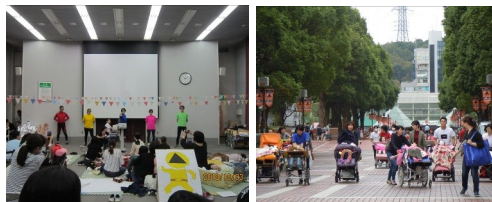
運動会
3病棟

11月7日(水)に実施、参加総数は90名。
厚生棟を会場にして、病棟の「運動会」を島田分教室との共催行事として実施しました。今回はヤギさん(黒ヤギ、白ヤギ)を制作して、利用者様・ご家族・職員・教員が皆で楽しめる競技・ゲームを楽しみました。



大遠足
3病棟(東棟)

10月3日(水)に実施、参加総数は59名。
午前中は厚生棟で楽しいレクリエーションを行ないました。病棟職員が扮した5人の島レンジャーが登場し、利用者様もびっくりでした。午後はバスで多摩センターまで外出し、散策をしながら午前のゲームの続きを楽しみました。



大遠足
5病棟

10月2日(火)に実施、参加総数は77名。
今回は津久井湖城山公園の根小屋地区という場所に行きました。利用者様の好きなバスドライブを1時間ほど楽しみながらの行程でした。車窓から津久井湖を見て、公園ではおいしいお弁当と散策を楽しみました。



大遠足
6病棟第2班

10月4日(木)に実施、参加総数は48名。
バスドライブを1時間ほど楽しみながら、小金井公園に向かいました。曇り空の中でしたが、公園内の「江戸東京たてもの園」を中心に散策しました。公園スタッフの親切な対応もあり、利用者様も満足そうな様子でした。



大遠足
7病棟(東棟)

10月24日(水)に実施、参加総数は49名。
昨年に続き「府中市郷土の森」へバスを使っただの大遠足でした。広い公園内を、利用者様・ご家族・職員で構成するグループ毎に分かれて散策を楽しみました。大きなケヤキの木の下で、おやつも楽しみました。



井上鑑&鑑組の皆さんによる Autumn Festival

9月30日(日)の午後、毎年恒例となった「Autumn Festival」が開催されました。今年で3年目です。幅広い分野の音楽でご活躍の井上鑑さんと新進気鋭の若手ミュージシャン「鑑組」の皆さんによる本格的なコンサートです。利用者様との共演もあり、「風になりたい」を皆さんとひとつになって熱唱しました。また、鑑組メンバーオリジナル曲のひとつ「O・FU・RO!!!」は楽しい歌詞と軽快



なリズムで今でも心に残っています。
♪お風呂/お風呂/地球の仲間みんなでお風呂/見えない手と手つないでお風呂/力合わせろ未来へお風呂/一緒に温まろう♪
(療育長 岩井 理)



駒澤大学高校吹奏楽部による ふれあいコンサート

10月21日(日)の午後、当センターのグラウンドを会場にして「ふれあいコンサート」を開催しました。90名近い吹奏楽部員が、一体感のある素晴らしい演奏を披露してくれました。利用者様が楽しめるように、テンポ良くリズムに乗りやすい曲目をたくさん用意してくれました。会場は拍手と笑顔に包まれました。(療育長 高橋 節夫)



<プログラム>

- 1、行進曲「旧友」 2、宝島 3、キャン・ユー・セレブレイト 4、Mr インクレディブル
- 5、USA 6、ドラえもん 7、ミッキーマウス・マーチ 8、ビリーブ 9、ブラジル



ラピナスのお二人による 秋の調べコンサート

10月29日(月)の午後、晩秋から初冬へと季節の移りを感じながら「秋の調べコンサート」が開催されました。音楽イベントをコーディネートしている「アートピア」主催で、「ラピナス」のお二人による歌とピアノのコンサートでした。童謡や日本歌曲など親しみのある秋の歌・オペラアリア・楽しい手遊び歌・ピアノによるクラシックの名曲などにうっとり聴き入りました。一緒に口ずさんだり涙を流したり



している利用者様もいました。初対面とは思えないほど、ラピナスのお二人の温かな笑顔と優しい語りで会場が包まれたひとときでした。(療育長 岩井 理)



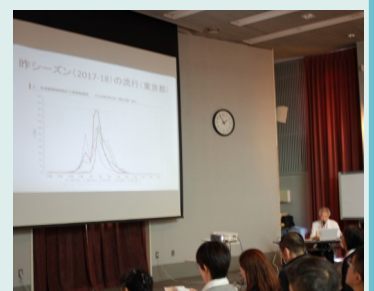
院内感染対策委員会 感染対策全体研修

10月22日(月) 厚生棟にて2018年度第1回 院内感染対策委員会の全体研修が開催されました。(2回目以降はビデオ放映)。最初に感染対策委員会委員長の有本先生より「インフルエンザ総合対策について」の概論的な内容を、続いてICNの米川さんから当センターでも集団感染が起こってしまったインフルエンザとRSウイルスの感染対策について各論的なお話がありました。

忙しい中で少しでも参加しやすいようにとの試みで、今回から講義時間を短縮し開始時間を15分遅くしたと

ころ、立ち見でも入り切れないくらいの方が参加できました。

(編集委員 中野 智子)



多摩市医療系防災訓練

10月21日(日)に厚生荘病院で行われた多摩市医療系防災訓練に参加しました。災害時に多摩市や医師会等が協力し、円滑に緊急医療救護所を設置・運営ができるよう、桜ヶ丘地区に設置される予定である多摩厚生荘病院内緊急医療救護所立上訓練及びトリアージ訓練を目的として実施しました。

当日は、約250名が参加され、当センターからも医師・看護師など11名が参加しました。緊急医療救護所の立上げと傷病者への対応、トリアージ、他病院への転送依頼など様々な訓練が行われました。看護学校の学生さんの迫真の演技もあり、本番さながらの緊張感を持って体験することができました。自然災害は最近日本で多々起きているので、万が一の時には訓練の経験を活かし対応していきたいと思います。

(医事科主任 大島 新ノ介)

自衛消防操法大会

10月17日(水)に自衛消防操法大会に参加しました。今回は療育部より第5病棟の椛田さん、リハビリテーション部のOT山本さん、支援部より高野の男女混成チームで出場しました。年齢も性別も仕事も異なる3名でしたので、息を合わせることが難しく、初めは不安でいっぱいでしたが、練習を重ねることで本番は何とか形になったと思います。当日は、他団体の完璧な演技に圧倒されながらも、理事長や院長をはじめ皆さまに励ましていただき、心強かったです。地震や火事は発生しないことが一番ですが、いざという時の備えに、消火柱の取り扱いや避難時の案内の仕方など実践することができ、大変勉強になりました。(支援部 高野 桃子)



ヤギさん、お世話になりました。

夏から除草のために来ていた大人気のヤギ。寒くなり草も少なくなったので、11月末で一旦お別れとなりました。来年も暖かくなったらまた来てもらう予定です。



shot!

ひと息



コスモス



秋咲きのひまわり



豊作：椎茸

中組・山王下自治会

総合防災訓練

10月27日(土)、「中沢地区における想定される災害～日頃の備えの重要性～」をテーマに、中組・山王下自治会の皆様との総合防災訓練を実施致しました。今年が多摩市役所防災安全課の城所課長をお招きし、中沢地域の災害時の被害を想定し講義をしていただきました。具体的な多摩市の取り組みとして、避難所の場所・飲料水の確保・備蓄状況等の説明がありました。実際の地震の映像もあり、いつ起こるか分からない災害に、日頃から準備をする大切さを改めて感じました。また、実際に車椅子に乗車し、施設内を移動していただきました。ちょっとした段差や坂道が、車椅子では操作しにくいことを改めて実感できたと思います。最後に参加者全員で、非常時の紙皿や懐中電灯とペットボトル、ティッシュペーパーと家庭用油を使ってランプを手作りし、地域住民の方々と交流ができました。

(理学療法科主任 山内 淳子)



おしらせコーナー



第18回公開シンポジウム

「重症心身障害児・者施設の未来と私達が進む道 Part2」

日時	平成31年2月16日(土) 13:00~16:30		
対象	どなたでも	定員	100名
会場	島田療育センター厚生棟	費用	500円

第13回心理講演会

「発達障害の子どもの育ちを支えるアプローチ」

日時	平成31年1月19日(土) 10:00~12:30		
対象	保護者、教育・保育関係者、地域の支援機関の方	定員	135名
会場	島田療育センター厚生棟	費用	1,000円

お問い合わせは島田療育センター支援部
TEL 042-374-2101まで

実習生受入状況

平成30年10月~平成30年11月

種別	人数	種別	人数
看護師	39名	介護福祉士	3名
保育士	6名	心理判定員	9名

※介護等体験実習の数は含みません

